

第8回代表委員会 議事録

於 視聴覚室
日 時 令和7年9月11日（木）
予定日時 12時30分 ～ 13時00分 （30分）
実際日時 12時37分 ～ 12時52分 （15分）
進 行 渡邊 功輔（代表委員会議長）

開会

日程1 報告1 提出者：代表委員長 岡田 岳樹	
代表委員長 二学期初頭挨拶	
説明	
話者	内容
代表委員長 岡田	<ul style="list-style-type: none">・夏休み中の代表委員会としての外務活動について、今後報告書を出すことを検討しているため、お待ちいただきたい。・二学期についても、毎週木曜日に代表委員会を定例開催する。予算等に関する事前審議会やその他プロジェクトに関する意見交換会が組み込まれる可能性もあるので日程をよく確認されたい。・二学期になり中1の代表委員も加わるため、新しいメンバーとともに生徒自治をより良い方向に進めていく活動を頑張っていきたい（・いかれたい）。

日程2 報告2 提出者：第104回記念祭小委員長 中尾 健人	
第104回記念祭小委員会発足宣言	
説明	
話者	内容
第104回記念祭小委員長 中尾	第104回記念祭小委員会の発足を宣言する。

日程3 報告3 提出者：代表委員長 岡田 岳樹		
第69回強歩大会に関する今後の日程について		
説明		
話者		内容
代表委員長	岡田	第69回強歩大会の決算案に関して、校長から提出された議案が代表委員会で否決されたことを踏まえて、今後の進め方を代表委員会事務局で再度検討した。その結果、補欠選挙を第一に求めていくという方針には変更はないが、補欠選挙ができない場合も考える必要があるため、規約に準じて第70回強歩大会小委員長に代理で提出していただく形も考えられるかと検討している。なお、決算案は今学期中の早いうちに提出をしたいと考えている。しかし、代表委員の合意がない中で強行的にそのようなことを行うのは互いにいい結果にはならないと考えるため、不満を持たれている方や意見を述べたい方などがいらっしゃる場合、その方たちと校長含む先生方とお話をしていただくのも一つの手段であると考えている。これについての具体的なご案内は後日行う。なるべく早めに強歩大会の決算を通過させたいと考えているため、ご協力をお願いしたい。
(報告であるが、議長により、質疑応答の時間を設けることが認められる)		
質疑応答		
予定時間 12時43分 ～ 12時50分 (17分)		
実際時間 12時43分 ～ 12時51分 (18分)		
話者		内容
高2D	加藤	校長に止められている状況でどのようにして補欠選挙を求めていくのか。
代表委員長	岡田	校長を筆頭に教師会全体でやってはいけないのではないかとこの声が上がっており、実施が難しいことは承知している。しかし、正式なプロセスに則ることが一番重要であり、なるべく早めに他の手を打つことも考えつつ、最後まで交渉できる場所はしていくという姿勢を見せていくことが大事であると考えている。
	加藤	具体的に、いつ・何を・どのように訴えて交渉していくのか。
	岡田	具体的な日程に関しては未決である。
高1B	松本	体育祭の開会式の前に生徒総会をすれば、一番楽であり、かつ規約を鑑みても真っ当な通し方ではないのか。

代表委員長	岡田	生徒総会は、十分に有用な手段であると同時に、非常に大きな権限を持っている上に、生徒全員を動員するものであるため、現時点で生徒への内容の周知が足りていないことを踏まえ、生徒総会を開催することに関しては慎重にならなければならないと考える。そのため、議論の土台ができている代表委員会にて議論を進めて、納得をしていただくという形を作るのが誠実な課題解決への道であると考えている。
高2D	加藤	(先ほどの件を受けて) 具体的な行動に結びつかない姿勢は意味がないのではないか。また、そのような形式的な議論を生徒自治という場ですることについて大変疑問に感じるがいかがか。
代表委員長	岡田	教師会に補欠選挙を求めていくことは姿勢として求められることであることはご理解いただいていると考える。しかし、それが難しい場合は他の方法を検討することになるため、補欠選挙だけを求めて進めていくわけではない。そのため、補欠選挙や他の方法に関する具体的なスケジュールを決めているわけではない。また、それは一人で決めるものではなく、代表委員や先生方と、しっかりとしたプロセスの中で審議をしていくことになると思う。

日程4 報告4 提出者：代表委員長 岡田 岳樹	
準事務局員の任命について	
説明	
話者	内容
代表委員長 岡田	この夏休みに、広報補佐である榊田君が海外に留学に行ったため、広報補佐についての役割が手薄になってしまう懸念も踏まえて、高校1年A組の浅井周君を広報補佐の役職に追加任命した。

散会

文字起こし

渡邊

これより、第8回代表委員会を開催いたします。日程第1、報告1、代表委員長二学期初頭挨拶ということで、岡田代表委員長お願いします。

岡田

はい、こんにちは、代表委員長の岡田です。二学期もよろしく願いいたします。まず、二学期初頭挨拶ということなのですが、大したことは話さないんですけども、夏休み中に代表委員会として、外務活動を含めた様々な業務をですね、やりましたので、今後それらについての報告書を出そうかなと思うんですけど、そちらについても最初におそらく代表委員の方に共有してという形になるかと思うので、それをお待ちいただければと思います。それから、二学期についても、先日お送りした通りですが、毎週木曜日に、代表委員会を開催する、定例開催するということになります。それから、あと予算関係について、たまた、おそらく、事前審議会等が入る可能性があります。それと、ほかのですね、プロジェクト等についての意見交換会等が、組み込まれる可能性もあるのでそこは日程をより確認するようにしてください。二学期になってからおそらく中学1年生の皆さんも、代表委員に加わるかと思っておりますので、皆さんぜひですね、新しいメンバーと一緒に、生徒自治をより、よい方向に進めていくという、活動を、頑張っていきたいということでもよろしく願いいたします以上です。

渡邊

はい、一応こちら報告なので、特に採決は行いませんが、質疑のある方はいらっしゃいますか。はい、それではありがとうございます。次に移ります。日程第2、ちょっと順番を前後しまして、先に、報告第4と書かれている、第104回記念祭小委員会の発足宣言を行います。第104回記念祭小委員長中尾君をお願いします。

中尾

こんにちは。高校2年生の中尾健人と申します。この度ですね、1学期に行われた、令和七年度春の選挙において記念祭小委員長選に出馬し、皆様のご信任を賜り、無事当選することができました。これから、第104回記念祭の成功に向け、全力を尽くしてまいります。それでは、校友会規約第二十六条第2項により、第104回記念祭小委員会を発足させていただきます。よろしく願いします。ありがとうございます。

渡邊

はい、ありがとうございます。そして、次に移ります。次日程第3、報告2と書かれている、先に第69回強歩大会に関する今後の日程について、岡田代表委員長お願いします。

岡田

はい、こんにちは岡田でございます。69回強歩大会小委員会の決议案について説明をさせていただきます。先学期、みなさん、記憶に新しいかと思いますが、補欠選挙ができなくなったということですね、校長の方から、ということで議案を提出をさせていただき、いただきまして、69回強歩大会の決议案、審議をするという形にいたしました。が、代表委員会の方で否決をされたということになっていま、います。それも踏まえてですね、今後、この、行事ですね決算までのように進めていくかということを再度代表委員会のほうで、事務局の方ですね、検討した結果、やはりその、補欠選挙を第一に求めていくということ、この方針には変わりはないのですけれども、もしですね、それが、補欠選挙ができなかった場合に、他の方法も考えなければならないと。とにかく、この事務作業というのは、早めに終わらせなければならないわけですから、決算というものを、できればですね、今学期中の早いうちに提出をして、それを審議したいと、いう風に考えています。やはり規約上は、強歩大会小委員長がいなければ、決算を通すことはできないので、やはりけ、補欠選挙をやるのも先決なんですけれども、ただ、他に、例えば第70回強歩大会の小委員長にですね、代理で、代理というか、提出をしていただくという形も考えられるかという風に、現在検討を進めているところでございます。ただ、代表委員会、の皆さんのですね、合意がない中で、強行的にそのようなことを行うのは、お互いにとって、なかなか、いい結果にはならないと思いますので、特に、不満を持たれている方々ですね、やはり、意見をもし述べたい方とかがいちゃったら、その方たちと、校長含む先生方と、お話をさせていただくのも、一つの手段かなというふうに思っております。そちらについて具体的なご案内は、後ほどさせていただきますけれども、後ほどというか今日ではないんですが、後日させていただきますが、そういう形にして、できればですね、早めにこの、強歩大会の決算を、通過させたいという風に思っておりますので、皆さん何卒ご協力をお願い申し上げます。というのが、今後の日程についてはそういうことで、おまかにですね、お伝えいたしました。はい、以上です。

渡邊

一応こちらについても、報告ですが、質疑等ある方がいらっしゃいましたら、行いますが、行いますか、はい。

加藤

高2Dの加藤です。先ほど、補欠選挙を求めていくっていうような、今後も求めていきますっていうような話をしていたと思うんですけど、校長がやらな、やっちゃダメだって言っているのにどうやって求めていくんでしょう。

岡田

はい、補欠選挙、ですね。校長がやっちゃダメだということですが、とりあえず、教師会の方で、これが1学期に定められたと、いう経緯があります。それで、補欠選挙、もちろんですね、難しいと思いますよ。校長を筆頭にですね、教師会全体の中でやるべきではないかという声があがっているのは承知しております。ただ、その上で、正式なプロセスに則するということが、これが一番重要なことですから、もちろん、この決算を通すために、なるべく早めに、ですね、他の手を打つということも考えつつ、やはり最後まで、交渉できるところはしていくという姿勢、を、見せていくことが大事なのかなというふうに考えております。

渡邊

どうぞ。

加藤

高2Dの加藤です。求めていくっていうのは、姿勢の話であって、岡田代表委員長がどう思うかっていう話だと思うんですけど具体的に手段として、何をどういうふうに訴えて交渉していくのかっていうのを、具体的な、いついつに校長に会うとか、どういうことを要求するとかそういう具体的な話をお願い

します。

岡田

具体的な日程についてはまだ決まっています。以上です。

渡邊

他に質疑ある方いらっしゃいますか。はい、手前の方。あ、時間12時50分までにします。

松本

はい、高校1年松本岳大です。確かに、代表委員長もおっしゃっていたように、補欠選挙するのも難しいですし、加えて、決算のために、正式なプロセスで選挙をするってだけでも数しゅ、1か月かかるくらい、かかってしまいますし、それだけで、決算するだけでし、そこで、一つ提案なんです、が、体育祭で、グラウンドに全員集まると思うんですよ。だから、そのタイミングで、体育祭の開会式の前に、体育祭を始める前に、一回ちょっと集まってもらって、そこで、生徒総会をする。で生徒総会で通す。そうすれば、せっかく生徒総会を作ったんですし、規約の全てを超越できる存在なので、それが一番楽な詰め方で、かつ規約的にも、真ッ当な通し方じゃないかなと思うんですが、どうでしょうか。

岡田

生徒総会についてはですね、こちらも検討いたしました。やるなら体育祭のもそうなんですけれども、やるなら二学期の始業式にやるのが一番手っ取り早かったかなというふうに思っております。ただ、生徒総会について、こちら検討したんですけどもやはり、生徒全員がですね、いかに、内容について、よく知っているかとかですね、あるいは、ただ単にですね、生徒にじゃあこれで生徒総会で通しますから、こういうことをやりますよと言っただけで、それが本当に意味のある、生徒総会になるかとか、それで、もし例えば飯にですよ、その、強行で、何かを、採決をしようとしているという形になって、それが、もし、生徒の間、とかですね、代表委員とかとの間で、傷を生むようなことになってしまうということがあれば、それは大きな問題であると考えております。ですから、生徒総会というものはもちろん考えられますし、一つの手段としては十分に有用だと思いますが、ただ、非常に大きな権限を持っている上に、やはり生徒全員を動員するということですから、その、生徒総会を行うということに関しては慎重にならないと思います。生徒総会を行うにすることにしてもやはり、それを、やるならば、もう少し、全校生徒が、何が起きているのかというのを知らなければならないと。それをやはり全校生徒に詳しくお伝え、お伝えしていくっていうのは、もちろん代表委員の皆さんに、協力をしていただくということにはなるんですけども、やはりそれが浸透するには時間がかかるなというふうに思っております。ですから、まずは、しっかりとした議論の、土台ができている代表委員会ですね、しっかりと議論を進めて、そこで、皆さんに、納得をしていただくという一つの形を作るというのが、これが、誠実な、課題、課題の解決の、道なのかなと考えておりますので、その道を選択させていただきました。以上です。

渡邊

他に、ある方いらっしゃいますか。はい、それでは、30秒ほどで、質疑まとめてください。

加藤

はい、高2Dの加藤です。先ほど、姿勢を見せていくということだが、具体的な計画は決まっていみたいな話をされたと思うんですけど、それ、いわば、国会で、いろんなことをしてる無能な政治家と同じようなことをやっているんじゃないかなというふうに思います。つまりですね、予定がないんだったらそれは姿勢、姿勢も何もないじゃないですか。ただ、姿勢というのは、あなたの気持ちがあるからってことだけで具体的な行動に結びつかないんだたら意味がないというふうに思うんでそういうなんというんだろう、形式的な、つまらない議論を、ここで、生徒自治という場でやることについて大変疑問に思うんですがいかがでしょう。

岡田

形式的な話ということなんですけれども、まず、姿勢、ですね。姿勢と、委員はおっしゃられておりますけれども、もちろん、一つね、形として、教師会に補欠選挙を求めていくという、これは姿勢として求められることであることは、ご理解いただいていることと思います。ただ、それも難しいのであれば、他の形も検討すると。それで代表委員会を通すという、他の形を検討することになるので、それについては、完全に補欠選挙、だけを求めて進めていくわけではありません。ですから、補欠選挙に関して、じゃあここで、このような交渉して、ここまでの補欠選挙をやらなければならないというふうな具体的なスケジュールを決めるわけではなくて、補欠選挙も考えつつ、ただ、他の方法も、模索をしながら、で、その他の方法というのは例えば先ほど言ったような、70回強歩大会小委員長に、提出をしていただくとか、そういう方法も考えられると思っております。で、そちらに関して、例えば、今のうちにですね、じゃあ何月何日に、校長と会って、何月何日までにこれを決めますということ、それを、決めるのは、とても難しいと思います。それは、あの、我々一人で決めること、ではありませんから、代表委員の皆さんと、審議をしていく、で、そのプロセスの中で決めていくということになると思います。でそれについては後ほど代表委員の皆さんと先生方とお話をする機会を設けたいと思いますし、さらなる具体的な計画については後ほど、ご説明をさせていただきますが、現時点で、例えば、いつになったら校長と話せていつになったら補欠選挙ができるかどうかが決まってみたいなことをそれを具体的に申し上げられる、状況はないということ、でございます。

加藤

つまり、特段行動は起こさないということでしょうか。

渡邊

はい、12時50分過ぎましたので、いったんこれは終了します。はい、日程第3終了しまして、続いて日程第4に移ります。次じえんじゅ、準事務局員の任命ということで、岡田代表委員長お願いします。

岡田

はい。それでは準事務局員の任命についての説明に入ります。まず、紙がないんですけども、今夏休みに、1名ですね、準事務局員を追加で任命することになりましたのでご報告いたします。広報補佐、で高校1年A組の浅井周君に、任命、広報補佐の役職をしていただくことになりました。まあ、こちらについてはですね、今まで広報補佐を、担当していた、榊田君がですね、海外に留学に行ったということで、少し、広報補佐についての役割が手薄になってしまうのではないかなという懸念もあって、一名ですね、選出をさせていただいたという次第に、なります。以上でございます。

武蔵高等学校中学校 令和7年度代表委員会

渡邊

はい、以上で、本日の日程はすべて終了しました。次回は、来週ありますか。

岡田

来週ある、、ある予定です。

渡邊

はい、ということなので、来週また木曜日、第9回を行う予定ですので、忘れずにお集まりください。それでは、以上になります。忘れ物をしないよう、椅子をしまって、教室にお戻りください。ありがとうございました。